

先進的な取り組みへの医療保険・介護保険適用について

1 提案の趣旨

超高齢社会の到来

これまで以上に医療・介護ニーズが高まる。
⇒課題解決に向けた取り組みを進める必要がある。

2 医療分野における先進的な取り組み（重粒子線治療）

我が国での死亡原因の第1位は、がん。患者数は、今後更に増加。
副作用が少なく、治療効果の高い重粒子線治療に期待。治療を希望する患者は年々増加。全国で施設の整備や計画が推進。

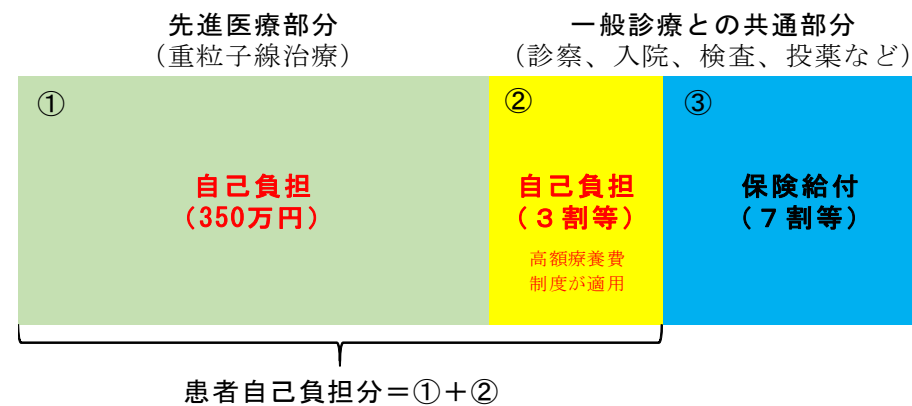
【装置の設置状況及び患者数の推移（臨床試験含む）】

〈関東地方〉

[2施設（千葉県、群馬県）] 25年度 1,384名（治療患者人数）
[神奈川県]（地独）神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター（H27.12～）

重粒子線治療は、医療保険が適用されない先進医療。患者の経済的負担が多大。
⇒治療を望む多くの人を受けられるよう、高額な自己負担を軽減する必要。

【先進医療の治療費】（神奈川県立がんセンターの場合）



【提案・要望1：重粒子線治療への医療保険適用について】
重粒子線治療を保険診療の対象とすること。

3 介護分野における先進的な取り組み（介護ロボット）

超高齢社会の進展に伴い、介護サービスに対するニーズがますます高まる。
介護ロボットの利活用により、介護サービスの質の向上、介護従事者の負担軽減が期待。

【神奈川県介護ロボット普及推進センター】

介護ロボット等の普及推進を図るため、平成24年度より介護ロボット等の活用状況を介護・医療関係者等に公開。

機器名	PARO（パロ）	PALRO（パルロ）	ルンバ	HAL（ハル）	NESS（ネス）
写真					
用途	癒し、認知症ケア	コミュニケーション	掃除省力化	リハビリ、歩行支援	リハビリ
公開場所	特別養護老人ホーム 芙蓉苑（横浜市港南区下永谷 4-21-10）			長田病院（横浜市港南区丸山台 2-2-10）	

【介護ロボットへの介護保険適用の促進】

「ロボット革命実現会議」で、本県から介護保険適用の迅速化・弾力化を主張
⇒「ロボット新戦略（H27.2.10決定）」で、「3年ごとの適用見直し」が「随時受付・随時決定」となるなど、手続き面では一歩前進したものの、介護ロボットへの保険適用はまだ不十分。

介護ロボット普及の主な阻害要因は、費用面（高額なものが多い）。
⇒介護保険適用による負担軽減が必要。

【提案・要望2：介護ロボットへの介護保険の適用等について】

- 介護保険給付における福祉用具の対象について、介護ロボットの利用を考慮した種目等の設定とすること。
- 介護施設等における介護ロボットの活用について、事業者負担の一層の軽減を図ること。

【参考：さがみロボット産業特区】

本県では、総合特区制度を活用し、さがみロボット産業特区において、生活支援ロボットの実用化や普及を推進。

○規制緩和の実現 ○実証実験をサポート ⇒ 実用化・普及へ